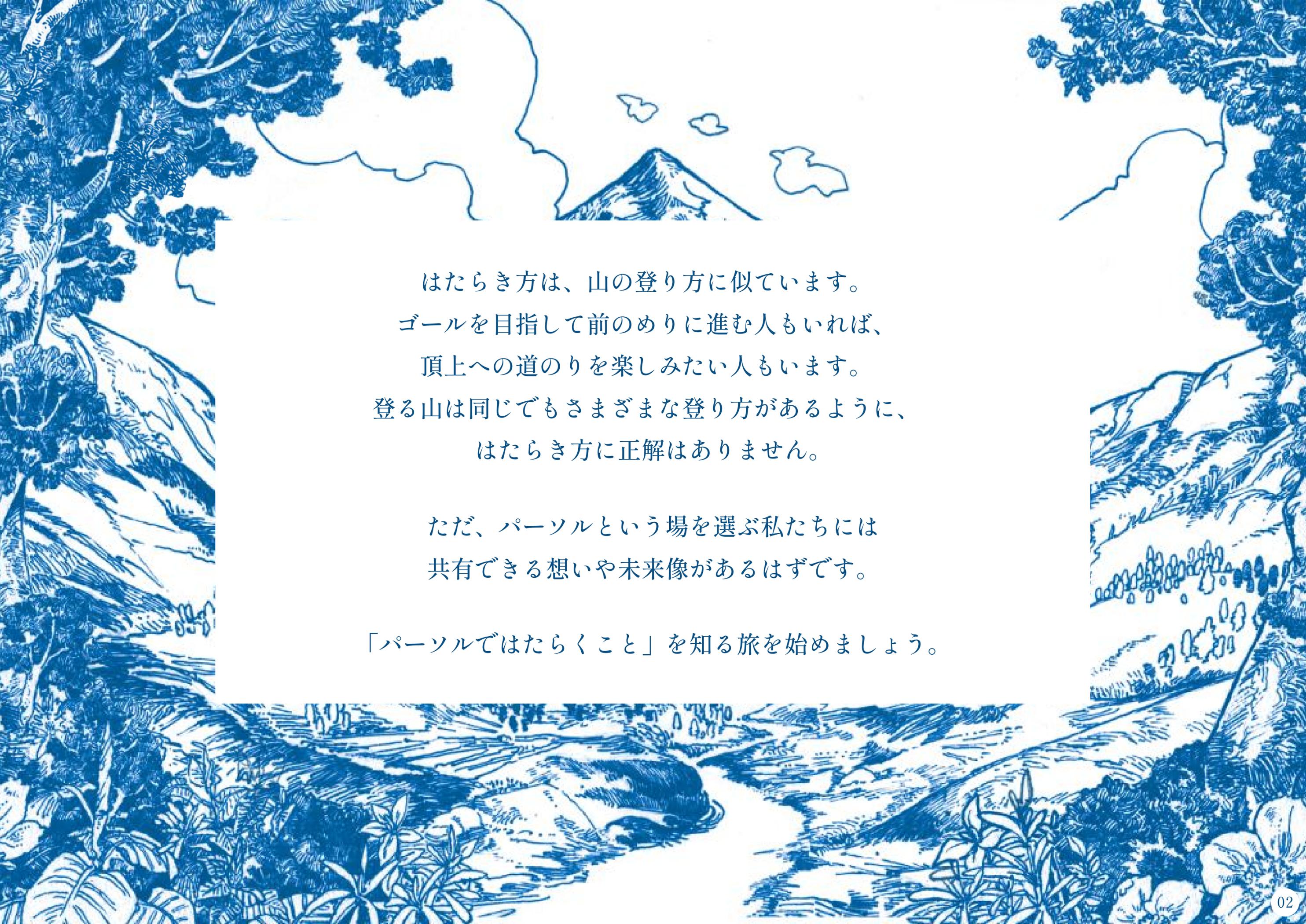




PERSOL CULTURE DECK





はたらき方は、山の登り方に似ています。
ゴールを目指して前のめりに進む人もいれば、
頂上への道のりを楽しみたい人もいます。
登る山は同じでもさまざまな登り方があるように、
はたらき方に正解はありません。

ただ、パーソルという場を選ぶ私たちには
共有できる想いや未来像があるはずです。

「パーソルではたらくこと」を知る旅を始めましょう。

PERSOL CULTURE DECK

04

山頂からの景色

グループビジョン

パーソルグループが実現したい社会

03

目指す山頂

ありたい姿

パーソルグループの目指す企業像

02

山登りの道しるべ

行動指針

パーソルグループの社員一人ひとりが
持つべき価値観

01

山登りの始まり

経営理念

パーソルグループの存在意義

CULTURE DECK とは？

「カルチャーデッキ」とは、企業の理念体系や価値観を一貫して理解するためにまとめたものです。

パーソルの理念体系に込められた想いや価値観を知ること、パーソルのグループビジョン「はたらいて、笑おう。」を実現するために、日々私たちにできることが見えてくるはずです。



01 | 経営理念

山登りの始まり

パーソルグループの存在意義

“当たり前を疑う姿勢”から

かつて、創業者・篠原 欣子が目の当たりにした
誰もが分け隔てなくはたらく海外の職場。

なぜ日本では、女性がキャリアを築き、
活躍できる環境につくれないのか？

私たちの土台は、昔も現在も変わらず、
「はたらく」にかかわる社会課題の解決にあるのです。



経営理念

雇用の創造

人々の成長

社会貢献



“ 創業者・篠原 欣子を 突き動かしたものは？ ”

スイス・イギリス留学時、日本の社会との違いに衝撃を受けた篠原。
そして、はたらく場の様子を目の当たりにしたのは、
オーストラリアのオフィスに足を踏み入れたときでした。

**「誰もが分け隔てなく、生き活きと
はたらける環境をつくりたい」**

そんな思いからパーソル（当時テンプスタッフ）は
スタートしました。

「はたらく」の社会課題を解決する

時間や
はたらく場所の
制約

そして現在も、
多岐にわたる人と雇用の偏在に、
私たちは挑み続けています。

はたらく選択肢
の損失

雇用形態による
格差

人材と雇用の
ミスマッチ

必要な雇用を生み出し、**その場所に適した人がはたらけるようにすること。**
そして**人々が成長し続けられる環境をつくること。**それが、パーソルができる社会貢献。

経営理念が生まれた背景と想い

雇用の創造

女性が活躍する場をつくるという強い想いからスタート。
社会の変化に応じて、はたらく人が必要としている機会がないのであればつくっていきこう。



人々の成長

元来、人は仕事を通じて成長するもの。
だからこそ、はたらく機会を提供することは人々の成長を支援することにつながる。



社会貢献

人が成長すると企業も成長していく。そして、人や企業が成長することでより良い社会になっていく。
それがパーソルのできる社会貢献であり、パーソルの存在意義。



私たちの土台は、昔も現在も変わらず、

「はたらく」にかかわる社会課題の解決にあるのです。



02 | 行動指針

山登りの道しるべ

パーソルグループの社員一人ひとりが
持つべき価値観

はたらく人の道を照らす 5つの行動指針

創業者・篠原 欣子が生んだ経営理念のもと、
日々の仕事にどのように向き合っていくのか。
私たちには、道しるべとなる行動指針があります。



行動指針

誠実

すべてのことに、
真摯に向き合おう

顧客志向

信頼を得て、
お客様の期待を超えよう

プロフェッ
シヨナリズム

志し高く、
磨き続けよう

チームワーク

多様性を活かし、
組織の成果を最大化しよう

挑戦と変革

自ら考え、行動し、
変化することを楽しもう



“ 行動指針に こめられた想いとは？ ”

職種や立場が違って、
パーソルという同じ山を登るメンバーとして、
私たちが日々はたらく上で
大切にすべきこととは何でしょうか。

「誠意を尽くせば **人は必ず動いてくれるもの**」

私たちが共通の道しるべとする行動指針は、
まず人の心に寄りそうことから始まります。

5つの行動指針の背景や大切な想い



WHY 『誠実』

私たちの仕事は、
人のキャリア・人生に影響を及ぼす仕事。
だからこそ、社内外問わず
すべての人に対して
まず誠実であることを大切に。

WHY 『顧客志向』

市場や顧客の変化に対して
アンテナを張り、
必要なサービスを開発・提供していくこと。
お客様の要望への対応だけでなく、
期待を超えていくこと。

WHY 『プロフェッショナリズム』

どんな仕事でも、人や企業の成長につながって
いるもの。だからこそパーソルは、人材と雇用の
価値を提供するためのプロフェッショナル
でなければならない。プロとしての
知識・経験・意識・行動を磨き続けること。



WHY 『チームワーク』

パーソルの価値は個人では生み出せない。
チームとしてはたらくことで
多様性が生まれ、その違いを互いに
尊重することで
価値を最大化させていく。

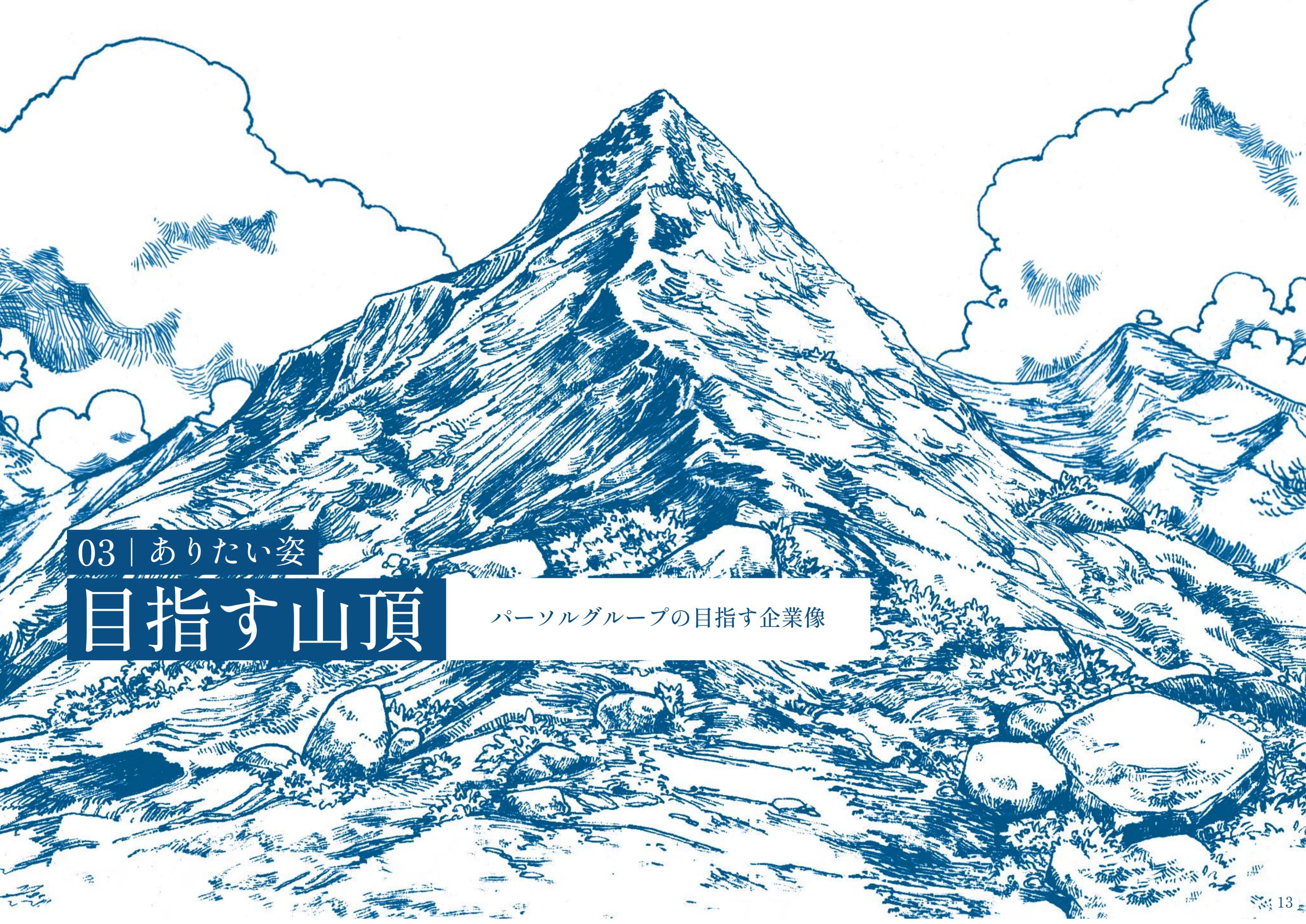


WHY 『挑戦と変革』

人も社会もテクノロジーも、
常に変化していくもの。
変化への意識を常に持って、
現状維持ではなく新しい領域にも
進んでいくこと。



この5つを共通の指針として持つ仲間であること、
それが **パーソルグループというチームの強み** でもあるのです。



03 | ありたい姿

目指す山頂

パーソルグループの目指す企業像

私たちはどんな 存在を目指すのか？

すべてのはたらく人の
「はたらいて、笑おう。」が実現された社会。
その実現のために私たちが目指すのは、
“はたらく Well-being”を生み出し続ける会社になること。



ありたい姿

“はたらく Well-being” 創造カンパニー

一人ひとりの可能性を広げ、
はたらく自由を広げ、
個人と社会の幸せを広げる。

“はたららく Well-being”を創造するために

目指す社会

「はたらいて、笑おう。」
が実現された社会



「はたらいて、笑おう。」を実現するために
私たちは“はたららく Well-being”を創造する

パーソンが 提供すること

はたららく
機会の創出

選択肢の中から
はたらき方を
選べるってうれしい!

“はたららく Well-being”を
感じられている状態

私にもこんな
はたらき方が
あったんだ!

多様なはたらき方
の提供

スキルを身に
つければ
可能性が広がる!

学びの機会
の提供

自分の可能性への「気づき」と、
はたららく選択肢を広げるための「学び」

を提供し、多様なはたららく機会を生み出すこと。

それが一人ひとりの

“はたららく Well-being”を実現するために、
パーソンができることです。

そのために、さまざまな事業に
取り組んでいきます。

派遣

ファシリティ
マネジメント

転職

事業創出

エンジニア
リング

BPO



“

「はらたいて、笑おう。」を実現するために

なぜ

“はたらく Well-being”が
必要なのか？

”

「はたらくことも **Well-beingの要素の1つ**」

Well-being、つまり“健康的に幸せに生きること”と
はたらくことは対立するものではなく、
どんなはたらき方をするかが
幸福を左右する大切な要素なのです。

※世界幸福度調査を行っているGallup社が定義している5つの要素

“はたらく Well-being”とは

5つに分類される Well-beingの中で、パーソルがフォーカスするのは、

キャリア面の幸福を示す
“はたらく Well-being”です。

そしてパーソルがこだわるのは、客観的な Well-beingだけでなく、

個人の主観や価値観による Well-beingを
大切にすること。



社会の中で、これらの“はたらく Well-being”を生み出す存在になること。

それが、「はたらいて、笑おう。」の社会を実現するために私たちパーソルが目指す姿なのです。



04 | グループビジョン

山頂からの景色

パーソルグループが実現したい社会

自分のはたらき方を、自分で決められる社会。 その先に見えるもの

私たちパーソルが
「はたらく Well-being」創造カンパニー」になることで見たい景色。
それは、すべてのはたらく人の、
「はたらいて、笑おう。」が実現した社会です。

グループビジョン

はたらいて、笑おう。

はたらくことは、生きること。はたらき方は、一人ひとり違うもの。
だから、自分の“はたらく”は、自分で決める。
すべての“はたらく”が、笑顔につながる社会を目指して。

パラレルキャリア

は自分に合っていると思う。

自分の得意なことや興味 を活かしたはたらき方

ができるのは楽しい!



VRオフィス

を使っているので、
家にも

リアルと同じ

ようにはたりますね。



障害があるので あきらめていた仕事

も、今は選べるようになりました。
テクノロジーと社会の仕組みが
さらに進化すれば

選択肢がもっと増えそう。

AIと一緒にはたらくと、
自分だけではできなかった
発想や価値が生まれてきて
わくわくします。



一緒にはたらく外国人
が増えたことで、自分の職場にも
多様な価値観や強み
が生まれてきたと思う。



“ 「はたらいて、笑おう。」
をかなえるには？ ”

日々忙しく動き回りたい人も、ゆったりはたらきたい人も。さまざまなはたらき方がある中で、どうすれば仕事を通じて、幸福感や達成感が得られるのでしょうか？

大切なのは自分のはたらくを、自分で決められること。

人に押し付けられるのではなく

選択肢の中から自分が選んだこと、

自分が決めたこと

には責任も喜びも感じられるのです。

そのために私たちパーソルは
はたらく選択肢・自己決定する人を増やしていきます。

まずは100万人の、そしていつかすべてのはたらく人の、
「はたらいて、笑おう。」が実現した社会へ

「はたらいて、笑おう。」をはかる3つの指標

2020年からGallup社とともに、約150の国と地域を対象に
 はたらくの主観的価値に関する調査を開始し、3つの質問を設けています。

Q
 はたらくの
『体験』
 あなたは、日々の仕事に、
 喜びや楽しみを
 感じていますか？

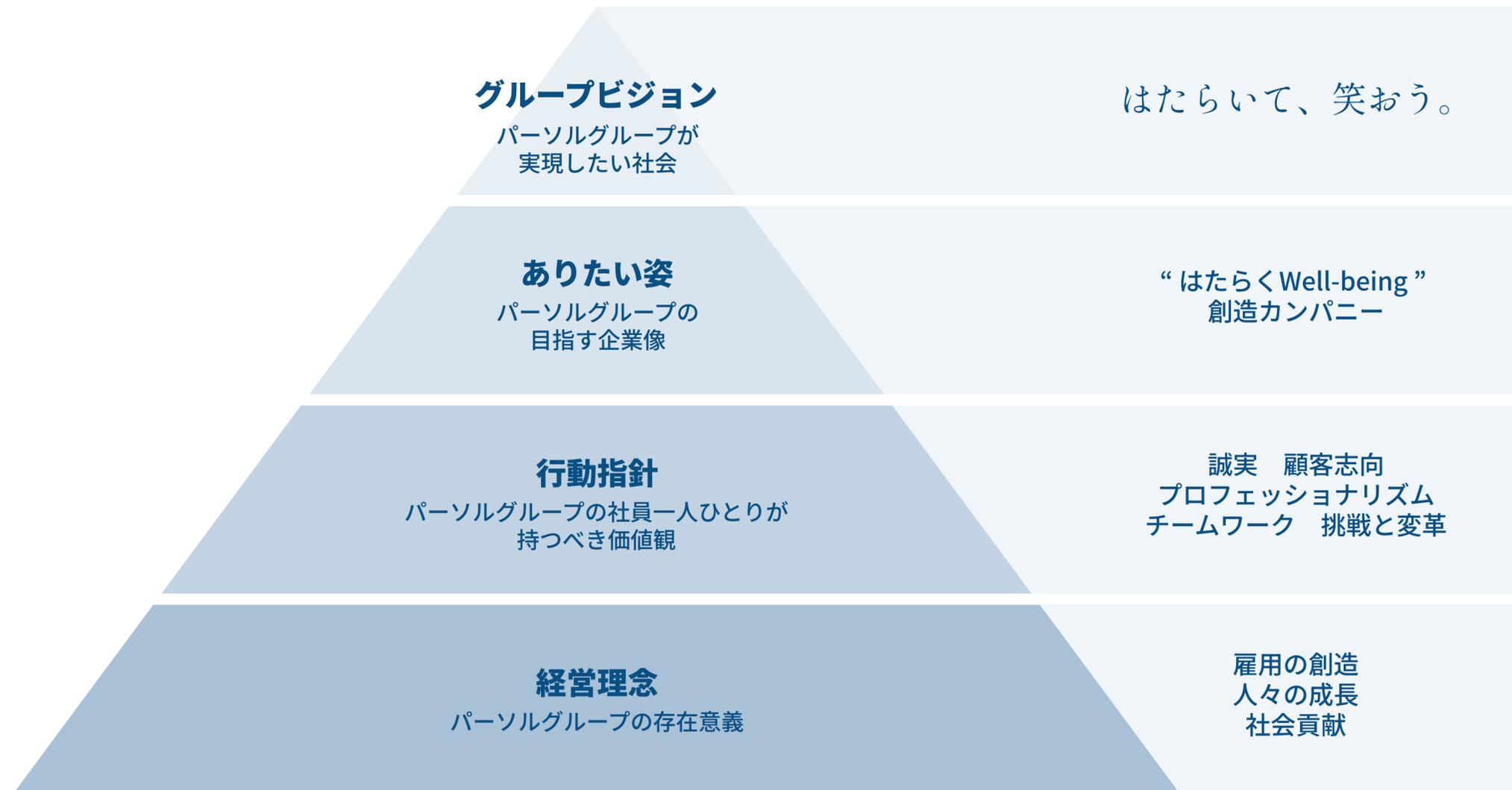
Q
 はたらくの
『評価』
 自分の仕事は、人々の生活を
 より良くすることに
 つながっていると思いますか？

Q
 はたらくの
『選択肢と自己決定』
 自分の仕事や働き方は、
 多くの選択肢の中から、
 選べる状態ですか？



すべての人がこの問いに **YES!** と答えられること。
 それが私たちパーソルの描く未来です。

パーソルグループの理念体系



経営理念をたしかな土台として、日々歩みを進め、
いつかきっと理想の社会を見渡すために。
私たちパーソルの旅は続いていきます。

カルチャーデッキ (Web)



パーソルのカルチャーデッキは
オンラインでいつでも確認できます。

URL

<https://www.persol-group.co.jp/special/culturedeck/>



はたらいて、笑おう。



PERSOL